

# (案)

## 介護のしごと魅力発信等事業実施要綱

### 1 事業の目的

福祉・介護の仕事の魅力を伝え、福祉・介護に対して抱いているイメージを向上させるため、福祉・介護について理解を促進するための体験型・参加型イベントの開催やターゲット別の情報発信などを行い、福祉・介護分野への多様な人材の参入促進・定着を図ることを目的とする。

### 2 実施主体

実施主体は、公募により採択された法人とする。なお、実施に当たっては、複数の法人で連携して実施することも可能とする。

### 3 事業区分及び各事業の主眼

#### ① 福祉・介護の体験型・参加型イベント実施事業

- ・ 幅広い世代の者の福祉・介護の現場に対する関心を高め、福祉・介護分野への参入促進を図る。
- ・ 福祉・介護分野への関心の有無にかかわらず、幅広い世代の者の介護に対する意識変容を図る。
- ・ 福祉・介護分野への関心を有する層を、対象者像に応じて、介護福祉士養成施設への入学、介護分野の資格取得、「介護に関する入門的研修」の受講など、福祉・介護分野への参入につながる行動を促す。
- ・ 現に福祉・介護に携わる者の定着を図る。

#### ② ターゲット別魅力発信事業（若者層向け）

- ・ 若者層（小学生や中学生を含む）への福祉・介護についての関心を高め、福祉系高等学校や介護福祉士養成施設への進学や福祉・介護分野の施設・事業所への就職を促す。
- ・ 福祉系高等学校や介護福祉士養成施設を卒業した福祉・介護分野の施設・事業所に勤務する若者の情報を発信し、進学を志す者が卒業後をイメージできるようにする。

## (案)

- ・ 若者層のみならず、その保護者や教員の福祉・介護分野への理解を促す。
- ③ ターゲット別魅力発信事業（子育てを終えた層向け）
- ・ 子育てを終えた層（子育て中である層を含む）の福祉・介護についての関心を高め、「介護に関する入門的研修」の受講など、福祉・介護分野への参入につながる行動を促す。
  - ・ 福祉・介護分野の施設・事業所における働き方を、子育てを終えた層がイメージできるようにする。
  - ・ 「介護に関する入門的研修」や「介護職員初任者研修」などの受講を促すとともに、受講に係る費用や支援制度について周知する。
- ④ ターゲット別魅力発信事業（アクティブシニア層向け）
- ・ アクティブシニア層の福祉・介護についての関心を高め、「介護助手」等として、福祉・介護分野への参入を促す。
  - ・ 定年退職後の働き方として、福祉・介護分野の施設・事業所での就労が選択肢の一つとなるよう、アクティブシニア層へ働きかける。
  - ・ 「介護助手」等としての、福祉・介護分野の施設・事業所における働き方を、アクティブシニア層がイメージできるようにする。
- ⑤ 介護技能向上促進事業
- ・ 介護技能の向上、質の高いサービス提供の手法を、介護事業者に展開する。
  - ・ 広く一般に介護職員の介護技能向上に向けた取組を周知する。
  - ・ ケアコンテスト等の介護技能の向上に向けた取組を、介護事業者や介護職員及び介護分野と直接関わりのない層に対して周知する。
  - ・ 様々な年齢層の介護技能の向上に向けた取組について調査を行うとともに、調査内容を周知する。
  - ・ 事業実施を通じて、介護職員の社会的評価を高める取組を行う。
- ⑥ 事業間連携・評価分析事業
- ・ 事業区分①から⑤の実施主体が、他の事業の実施主体との連携を図ることができるよう、事業間連携会議を開催するとともに、各実施主体の協力のもと、本事業の効果を評価分析する。

## (案)

- ・ 事業間連携会議を開催し、各実施主体が連携して対応すべき課題を整理する。
- ・ 各実施主体が他の実施主体との連携を調整する場としての、プラットフォームを構築する。
- ・ 各事業の事業内容を各実施主体のHP等様々な広報媒体を活用することにより、本事業を広く周知するため、各実施主体と調整する。
- ・ 本事業の事業効果の評価分析手法について研究を行う。
- ・ 各実施主体の協力のもと、共通した評価指標を設定する。

### 4 事業内容

#### (1) 事業区分①から⑤

##### ① 企画委員会の設置

- ・ 各事業区分の目的に応じて、学識経験者、有識者、職能団体、事業者団体、教育関係団体等からなる企画委員会を設置すること。
- ・ 企画委員会による専門的知見を踏まえて、事業内容を決定すること

##### ② イベント等の実施

- ・ 各事業区分の目的に応じて、イベントを実施し、介護のしごとの魅力を発信すること。
- ・ イベント等の実施に先立ち、各実施主体とも連携しながら、WEB 広告やSNS、チラシ等の宣伝媒体を活用した周知を行うこと。
- ・ 幅広く周知を行うためには、各実施主体のネットワークを相互に利用できるようにすることが効果的であるため、各実施主体は各事業間の連携に努めること。

##### ③ 事業効果の評価分析

事業実施により情報を届けられた対象者の規模や、介護に対する意識変容を生じさせることができた者を分析し、事業効果の評価を行う。

##### ④ 成果の報告

次に掲げる内容を盛り込んだ報告書を作成の上、令和4年4月末日までに電子媒体（USBメモリを除く）により厚生労働省社会・援護局福祉基盤課（以下、「当課」という。）に提出すること。

## (案)

- ・ 事業全体の経過
- ・ 評価分析の手法
- ・ 事業対象者の介護に対する意識変容などの事業効果

### (2) 事業区分⑥

#### ① 企画委員会の設置

- ・ 事業区分の目的に応じて、学識経験者、有識者、職能団体、事業者団体、教育関係団体等からなる企画委員会を設置すること。
- ・ 企画委員会による専門的知見を踏まえて、事業内容を決定すること。

#### ② 事業間連携会議の開催

事業目的の達成のため、年に4回程度、事業間連携会議を開催すること。

#### ③ プラットフォームの構築

各事業区分の実施主体が、事業間の連携を調整する場としての、プラットフォームを構築すること。

#### ④ 事業効果の評価分析についての研究

介護のしごと魅力発信等事業の実施により、情報を届けられた対象者の規模や、介護に対する意識変容、行動変容を生じさせることができたか等を評価分析すること。

#### ⑤ 研究結果のとりまとめ

次に掲げる内容を盛り込んだ調査研究報告書を作成の上、令和4年4月末日までに電子媒体（USBメモリを除く）により当課まで提出するものとする。

- ・ 事業全体の経過
- ・ ②事業間連携会議の開催及び③プラットフォームの構築による事業間連携の評価分析
- ・ ④の事業効果の評価分析についての研究結果

### (3) 留意事項

- ・ 福祉・介護について簡単に学ぶ機会や、ICT・介護ロボットを活用した

## (案)

事業所の取組、介護福祉士養成施設・福祉系高等学校等で学ぶ学生、現場で働く様々な職員からのメッセージの紹介などを盛り込むこと。

- ・ 福祉・介護の魅力を伝えるためには、福祉・介護の仕事に従事している職員の実態について知ることが不可欠であることから、職能団体や事業者団体等の協力を得ながら事業を実施すること。

なお、関係団体の取組と連動した事業を実施する場合には、あらかじめ当課と協議の上、関係団体に対する要請を行うこと。

- ・ 介護の日（11月11日）や福祉介護人材確保重点実施期間（11月4日から17日）にあわせ、関係団体、地方公共団体等と一体となって広報活動や福祉人材の交流などのイベントを行うよう努めること。
- ・ 介護職員の離職防止や定着促進等の雇用管理の意識の向上をはじめ、都道府県で実施されている各種認証制度（介護事業所の認証評価制度、くるみん認定制度、えるぼし認定制度、ユースエール認定制度等）の取得促進や ICT・介護ロボットの普及、チームケアの推進等を含めた事業となるよう努めること。

### 5 国の補助

国は、本事業に要する経費について、別に定める「令和3年度生活困窮者就労準備支援事業費等（民間団体実施分）の国庫補助について」（令和3年 月 日付け厚生労働省発社援第 号厚生労働事務官通知）に基づき、予算の範囲内で補助する。

### 6 事業採否の決定方法

本事業の実施主体は、別に定める評価委員会における事業の評価を踏まえ、決定する。

### 7 その他

- (1) 実施主体は、事業実施に当たり、当課に対して定期的な連絡及び協議を行い、当課の指示に従って事業を遂行すること。
- (2) 各実施主体は、事業区分⑥の実施主体が各実施主体間の連携を確保する

## (案)

ために主催する「事業間連携会議」に参画し、実施主体間で相互に連携を図りながら事業を遂行すること。

- (3) 職能団体や事業者団体、地方公共団体等（以下、「関係団体」という。）と連携を図ること。

なお、関係団体の取組と連動した事業を実施する場合には、あらかじめ当課と協議の上、関係団体に対する要請を行うこと。

- (4) 各実施主体は、各事業の効果を測定できるようにするとともに、事業全体の効果を測定するため、事業区分⑥の事業に協力をすること。
- (5) イベント等の開催が制限される場合、事業の実施手法の変更等により、事業目的を達成できるようにすること。
- (6) 本事業により作成された成果物は、補助事業終了後の活用方法を当課に協議すること。
- (7) 広報媒体作成のための取材、調査にあたっては、情報の正確性や個人のプライバシーに十分配慮した上で行うこと。